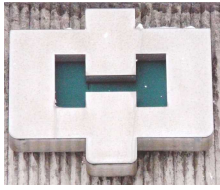


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 9月26日(月) No.11

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 1年総合学習「福祉」 体験して学ぶ

**高齢者模擬体験、車椅子体験** を含む福祉教育出前塾を13日に校内で行いました。佐渡市社会福祉協議会の後藤さん、長坂さんを講師にお招きし、年をとることの意味、高齢者の体の特徴について講話をいただき、また、車椅子の操作方法についても丁寧に教えていただきました。その後、4人程のグループに分かれ、実際に高齢者模擬体験セットを身に付けたり、車椅子を操作したりして、校舎内外を移動しました。体験役と補助役の両方を体験することで、高齢者や車椅子を使う人の不便さや気持ちを体感していました。10月5日の福祉施設での校外活動に役立てる意味合いもあり、生徒は体験から多くのことを学んでいました。家庭でも、街で高齢者を見かけたときでも、役立ててほしいと思います。

### 僕たちができること 中川

高齢者は、若い僕たちとは違い不自由なところがどうしても出てくると思います。だから僕たちはその高齢者の人たちを助けてあげて、高齢者や身体の不自由な人たちを若い人たちが助けてあげればよいと思いました。

でも、ただ助けるだけではなく、思いやりが大事だと車椅子に乗って気がつきました。車椅子に乗っている時、「動きますよ」と友達が声をかけてくれました。この時、僕は高齢者や身体の不自由な人たちはこのように声をかけられて「安心」しているんだと思いました。声かけをされると急に動くことがないので「安心」できます。なので僕が高齢者の人に車椅子を押す時、「安心」させてから車椅子を動かしたいです。



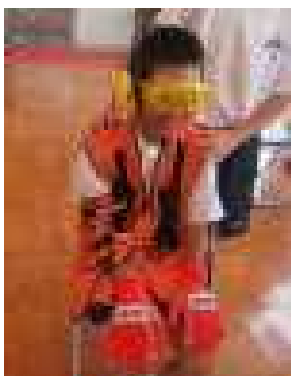
### 相手の気持ちを考えて

宇治

高齢者体験では、視野が狭くなっているのが下が見えずつまづくことがありました。体験なので歩き慣れた所は楽だと思っていましたが、歩き慣れていない所だとどこに何があるのか分からず、つまずいたり転倒したりしてしまうおそれがあり、すごく怖くてゆっくり歩きました。そのため、「早く早く」と言われるとケガや事故につながると感じました。もし町でお年寄りの人を助けていても、絶対に急かすような言葉は言えないと思いました。

車椅子体験では、自分では操作ができないので押してくれる人に全てを委ねるような気持ちでしたが、スピードが速いとすごく怖かったです。車椅子はシートベルトがなく急に止まると身体が投げ出されてしまうので、冗談でもスピードを出してはいけないと思いました。町で車椅子を押していても、乗っている人の身に危険がないようにしっかりと安全を確かめていきたいです。

講師の方から「相手の気持ちを考えて行動するように」と言われた時は、「自分は大丈夫」と思っていたのですが、体験をした後考えてみると、まだまだ相手の気持ちを考えて行動できていなかったと思いました。相手の気持ちと安全を第一に考えて行動したいです。



# 小中合同陸上練習 小中連携（体育面から）の取組

## 佐渡市小学校親善陸上大会

に向けて、畑野小5・6年生との合同練習会が9日と13日に行われました。小中連携の取組として今年度から始めたもので、畑野中の陸上部員が短距離班・長距離班・ハードル班・幅跳び班・高跳び班・砲丸投げ班に分かれて、お兄さん、お姉さんのように優しくアドバイスしたり、模範（！？）演技をしたりしていました。初めは中学生も遠慮気味でしたが、すぐに打ち解け互いに声を掛け合い、一緒に練習をしていました。2回目は小中学生ともお互いに慣れて、動きもよく真剣に取り組んでいました。時間を延長して、小学生の質問に中学生がていねいに答える場面も見られました。小学生の陸上練習に少しでも役立ったのではないかと思います。

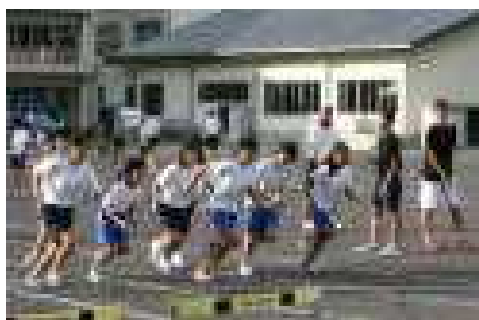
### 教えてよかったこと

最初はみんなが緊張していて、私も何から教えればよいか分かりませんでした。その時に「フォームが分からないので教えてください。」と言われ、1から教え、自分でも考えながら教えました。記

### 3年 小田

録を取り、「今までより飛んだ。」と笑顔で言われ、とても嬉しかったです。

自分で考えながら教えると自分も勉強になるのでよい機会になりました。（砲丸投げ班）



## 教育実習生 ありがとう 感謝の拍手、温かく

### 畑野中卒業生

の金子さん、加藤さんが8月29日からの教育実習に来ていました。金子先生は2週間、加藤先生は3週間の実習でした。ちょうど体育祭の時期と重なり、準備や当日も手伝っていただき、二人にとっても貴重な経験になりました。立派な教師になってほしいと思います。お別れの挨拶の後には、大きな拍手が響きました。お二人からメッセージをいただきましたので、紹介します。

#### 1 畑中の体育祭や普段の生徒の様子を見て、どんなふうに感じましたか。

- ・体育祭では、自分たちから主体的に動き、成功させようという気持ちが伝わってきました。毎日、素直に何事も懸命に取り組む姿にいつもパワーをもらっていました。
- ・学年、男女関係なく仲良く接することができるのは、素晴らしいことだと思いました。普段の授業や家庭学習に熱心に取り組む生徒の多さに驚きました。全員で勉強するという雰囲気があったととてもいいなと思いました。

#### 2 先輩として、後輩たちにメッセージをお願いします。

### 仲間とともに、挑戦！

### 金子

畑中の皆さん、2週間という短い時間でしたがとても濃い時間を過ごすことができました。皆さんのひたむきな姿、仲間を大切にしている心にいつも感動をもらっていました。

「何事にも挑戦すること」これは私のモットーです。中学校生活いろいろなことがありますね。自分にはムリだ…。そう思う時こそ、仲間がいます。自分を支えてくれる、一緒に頑張れる人たちとともに突き進んでいってください。皆さんの活躍を応援しています。

### 今しかできないことを

### 加藤

この3週間皆さんの素敵な姿をたくさん見せていただきました。皆さんにとっては当たり前になっているかも知れませんが、穏やかな校風や全員が参加する授業はとても貴重で素晴らしいことです。

そんな皆さんだからできることはたくさんあると思います。中学生の皆さんには、取り組むのがもう遅いということはないはずです。今しかできないことに、精一杯挑戦してください。

この3週間本当にありがとうございました。